

日本母親体会 全体会での発言

大阪です。

「子どもが笑う大阪」と言って、大量得票で誕生した橋下知事でしたが、就任するやいなや35人学級の廃止など府民施策きりすてを言い出しました。すぐに大阪教職員組合は教育関係団体と懇談をしました。今までなら行政を支える側の小・中の校長会と府PTA協議会がこの問題ではだまっておれないということになり、現場では、はじめてわたしたち大教組と連合大阪教組とがいっしょに推進するという5者の共同が成立しました。

教育の主権者であるPTAとの共同、管理職を含めたオール教育関係者との共同が橋下知事をおいつめ、わずか2週間足らずで105万筆を越える署名を提出し、35人学級の存続をかちとりました。

私たち大教組の大会にはじめて府PTA会長があいさつにみえられて、「これからも一致する課題については共同してすすめたい」とお話され、大阪母親大会にもはじめて、府PTA協議会の代表が参加されました。

今、大阪ではこれまで声をあげたこともなかった文化団体なども署名をあつめ、合計で300万筆を超えています。大幅な私学助成削減に高校生が「大阪の高校生に笑顔をくださいの会」を発足させ、直接橋下知事に声をとどける活動をするなどたちあがっています。引き続きがんばります。